

Ordnungszahlen (序数詞、形容詞変化、定冠詞と共に使うのが多い。形容詞（小文字）と名詞（大文字）として使われる。)

1. der/die/das erste	9. neunte	30. dreißigste
2. der/die/das zweite (以下同様)	10. zehnte	...
3. dritte	11. elfte	100. hundertste
4. vierte (発音 vierte または virte)	12. zwölften	101. hundert <i>erste</i>
5. fünfte	13. dréizehnte	103. hundert <i>dritte</i>
6. sechste	...	200. zwéihundertste
7. siebte, siebente	20. zwanzigste	1000. tausendste
8. achte	21. éinundzwanzigste	5382. fünftausenddreihundertzweiundachtzigste*

*二つ以上のアクセント記号が付いている単語にはメインのアクセントがどちらの方にも置かれる場合がある
erstens, zweitens, drittens ...: 論文等で「第一に、第二に、第三に」として使われる。

序数詞の応用例

der 7. Mai 2025 (der siebte Mai zweitausendfünfundzwanzig), der 7. 5. 2025 (der **siebte Fünfte** ...)
der 20. Geburtstag, mein 20. Geburtstag (der zwanzigste / mein zwanzigster G.) (私の) 20 歳の誕生日
das 21. Jahrhundert (das einundzwanzigste Jahrhundert) 21 世紀
die erste Tochter, der zweite Sohn / ihre erste Tochter, ihr zweiter Sohn (彼女の) 長女、次男
Friedrich II. (Friedrich **der Zweite**) フリードリヒ 2 世

Das Datum (日付), die Uhrzeit (時刻)

Zeiteinheiten: (時間の単位)

単数形	複数形	意味	単数形	複数形	意味
das Jahrtausend	Jahrtausende	1000 年	die halbe Stunde	halbe Stunden	30 分
das Jahrhundert	Jahrhunderte	世紀	die Viertelstunde	Viertelstunden	15 分
das Jahrzehnt	Jahrzehnte	10 年	die Dreiviertelstunde	Dreiviertelstunden	45 分
das Jahr	Jahre	年	die Minute	Minuten	分
der Monat	Monate	月	die Sekunde	Sekunden	秒
die Woche	Wochen	週	die Zehntelsekunde	Zehntelsekunden	0.1 秒
der Tag	Tage	日	die zehntel Sekunde	zehntel Sekunden	0.1 秒
die Stunde	Stunden	時間	die Millisekunde	Millisekunden	ms

Die Jahreszahlen der christlichen Zeitrechnung: (西暦紀元の年の読み方)

1099 までの年を普通の基数詞として読む。800 (= im Jahr 800)

1100 から 1999 までの年は **elfhundert ... neunzehnhundertneunundneunzig** と読む。（この独特の読み方は西暦の年を読む場合に限って使う。）Der Dreißigjährige Krieg dauerte von 1618 bis 1648. (von sechzehnhundertachtzehn bis sechzehnhundertachtundvierzig)

2000 以上の年を普通の基数詞として読む。Im Jahr zweitausend, zweitausendeins, zweitausendzwanzig.
→ (最近は例えば 2010 年を zwanzig-zehn と発音する人もいるが、それは Anglizismus で、正しいドイツ語ではない。)

英語のように **hundert** を省略したりしない × **neunzehnneunzig** ○ **neunzehnhundertneunzig**

ただし世紀が自明の時には世紀全体を省略することが一般的。例えば「私は 1963 年生まれだ。」

○ Ich bin neunzehnhundertdreundsechzig geboren. ○ Ich bin dreiundsechzig geboren.

紀元前の年には vor Christus (v. Chr.) または vor Christi Geburt を付ける。紀元後の年には必要に応じて nach Christus (n. Chr.) または nach Christi Geburt を付ける。 („nach Christi“も聞くが、それは誤り。)

Kaiser Augustus lebte von 63 v. Chr. bis 14 n. Chr.

Die Monate:

(der) Jánuar, Fébruar, März, Apríl, Mai, Júni, Júli, Augúst, Septémber, Október, Novémber, Dezémber (すべて男性名詞。月の名前には複数形を使うのは稀なので、ここでは挙げない。)

Das Datum: (日付)

29. 10. (20)25 neunundzwanzigster Zehnter/Oktober (zweitausend)fünfundzwanzig (単独で言う場合)
Heute ist **der** neunundzwanzigste Zehnte/Oktober (zweitausend)fünfundzwanzig.
am neunundzwanzigsten Zehnten/Oktober (zweitausend)fünfundzwanzig (...29 日に)
Mittwoch, **den** neunundzwanzigsten Zehnten/Oktober (zweitausend)fünfundzwanzig (手紙の冒頭に)

Die Jahreszeiten: (四季)

der Frühling (春) der Sommer (夏) der Herbst (秋) der Winter (冬)

Die Wochentage: (曜日、単数 der Wochentag)

名詞 : (der) Móntag (月), Díenstag, Mítwoch, Dónnerstag, Fréitag, Sámstag/Sónnabend (土), Sónntag (日)
Wérktag (平日), Féiertag (祝日、以上はすべて男性名詞), das Wóchenende (週末)

副詞 (「～曜日には」という意味) : montags, dienstags, ..., samstags/sonnabends, sonntags, werktags

Die Tageszeiten:

副詞 (「～には」)

der Morgen (朝、日の出の前後、5時～10時位)	morgens
der Vormittag (午前、9時～12時位)	vormittags
der Mittag (お昼、昼食・昼休みする時間、11:30～14:00位)	mittags
der Nachmittag (午後、13時～18時位)	nachmittags
der Abend (晩、日の入りの前後、17時～23時位)	abends
die Nacht (夜、寝る時間、22時～6時位)	nachts

Relative Angaben:

vorgestern (一昨日)	gestern (昨日)	heute (今日)	morgen (明日)	übermorgen (明後日)
形容詞 vorletzte=vorvorige, letzte=vorige ¹ , diese=laufende ² , nächste=kommende, übernächste を使って				
vorletztes Jahr 一昨年	dieser März 今年の三月		nächster April 次の四月	
vorvorige Woche 先々週	dieser Abend 今晚		die nächsten Wochen	
letzter Montag 去る月曜日	(=heute Abend)		来週から数週間	
voriger Monat 先月	laufende Woche 今週		kommendes Wochenende	
letzte Nacht 今朝、昨晚	dieses Jahr 今年		来る週末	
die letzten Tage 最近数日間	dieser Freitag 今週金曜日		übernächstes Jahr 再来年	

これらの表現は文の中で格変化し、die と diese が付いた場合以外では無冠詞の場合と定冠詞を付ける場合がある。どちらを使うか決まっている場合もあるが、意味は変わらない。定冠詞が付くと、男性と中性の場合は形容詞の語尾が変わります: der letzte Montag, das vorletzte Jahr.

¹ letzte と vorige は同義的に使われる場合が多いが、letzte は必ず「今」(話し手の現在)に対しての前日、前年などを指すことに対して、vorige は文脈によって話題になった別の時以前の時間を指すこともある。また letzte は文脈によって「最後の」という意味も持つ。Die letzte Woche des Jahres 一年の最後の週。

² laufende は Woche, Monat, Jahr などの経過を感じる感覚に使われ、「進行中の」という意味。

Die Uhrzeit (時刻)

時刻表現は多くありますが、約束するときや特定の時刻について語るときにドイツの日常生活でよく使われる表現を紹介します。また特に間違いやすい点について注意します。

• 名詞 Uhr

女性名詞として「時計」という意味もありますが、時刻を言う時には「3 時」の「時」に当たります。その場合は冠詞を付けません。drei Uhr, sechzehn Uhr など。

drei Uhr: 午前 3 時又は午後 3 時

sechzehn Uhr: 午後 4 時

• 前置詞 um

日本語の時刻表現の「に」に当たるドイツ語の単語は前置詞 um です。日付 (an/am を使う) と週・月・年などを指す表現 (in/im を使う) の場合と違うので注意してください。

um sechzehn Uhr: 午後 4 時に

• 前置詞 vor, nach

特定の時刻に近い時間をいう時に使う表現、例えば

(um) zwanzig [Minuten] vor zwölf [Uhr]: (午前又は午後) 11 時 40 分 (に)

(um) zehn [Minuten] nach drei [Uhr]: (午前又は午後) 3 時 10 分 (に)

注 [] に囲まれた単語を省略してもよい。

• 副詞 morgens, vormittags, mittags, nachmittags, abends, nachts

英語の am, pm に当たるドイツ語の単語はありません。時間を 12 時間方式でいう時に、例えば「5 時」は朝の 5 時を指すのか、夕方の 5 時を指すのか、明らかにするために以上のような副詞を使います。どの副詞を使うかは生活習慣によって、または季節によっても変わりますので、あくまでも大体の定義しかありません。

morgens: 日の出前後、日常生活で起きる時間から仕事を始める時間まで、5:00~10:00 位

vormittags: morgens が終わってから昼食まで、9:00~12:00 位

mittags: 太陽が南に位置する時、昼食を食べたり昼休みしている時間、11:30~14:00 位

nachmittags: mittags が終わってから abends になるまで、13:00~18:00 位

abends: 日の入前後、夕食時間から寝るまで、17:00~23:00 位

nachts: 日の入から日の出まで、人が寝る時間、22:00~6:00 位

これらの副詞は時刻表現の前または後に置かれるが、それぞれの使い方に制限があります：

abends um sieben [Uhr]: 午後 7 時に (um を使う場合のみに使われる語順です)

(um) sieben Uhr abends: 午後 7 時 (に) (この表現では Uhr を省略しません)

• 名詞 (das) Viertel

「四分の一」という意味ですが、ここでは一時間の四分の一、つまり 15 分を指します。時刻の表現ではよく vor と nach とともに使われ「15 分前」または「15 分後」を意味します。

morgens um Viertel vor zehn [Uhr]: 9 時 45 分に

morgens um Viertel nach zehn [Uhr]: 10 時 15 分に

注：この表現では Uhr を省略することが多いです。また、一部の地方ではこの表現があまり使われておらず、代わりに以下の viertel, dreiviertel が使われています。

• 副詞 viertel, halb, dreiviertel

時間を表す数詞の前に置かれ、その時間が「まだ完全になっていない」意味を指します。従って以下のようにになります。この表現では Uhr を常に省略します。

morgens um viertel zehn: 9 時 15 分に

morgens um halb zehn: 9 時 30 分に

morgens um dreiviertel zehn: 9 時 45 分に

morgens um zehn: 10 時に

注：この場合は viertel が副詞なので小文字で書きます。halb を使った表現はどこでも非常に頻繁に聞かれます。それに対して、上にも述べたように、Viertel vor/nach という表現が好まれる地方と、副詞 viertel/dreiviertel を使った表現が好まれる地方があります。しかし、さまざまな出身者が混ざる大都市などでは両方とも聞かれるので、間違って解釈しないように注視しましょう。また、ドイツ語の halb zehn (9:30) を英語の half past ten (10:30) と意味が違います。以下に主な表現を並べました。ドイツ人と約束する時にお間違いないように！

viertel zehn: 9:15 Viertel vor zehn: 9:45 Viertel nach zehn: 10:15 dreiviertel zehn: 9:45

• 時刻表などを読む時に使う表現

日常生活でもこの表現を使う人はいますが、時刻表などを読む時に必ず 24 時間方式を使って、以下のように読み上げます。読み方は書かれる順番と違うので注意して下さい。この表現を書く時には時間と分を表す数字の間にコロンを書く。表記では Uhr という単語を省略する場合もあるが、それが書かれても書かれなくても、読み上げる時には必ず「X Uhr Y」（X は時間、Y は分）という順で、「Uhr」を省略せずに発音します。

0:00 [Uhr] (読みは null Uhr または null Uhr null。:00 の場合、分を読み上げないのが多い。)

0:27 [Uhr] (読みは null Uhr siebenundzwanzig)

22:01 [Uhr] (読みは zweiundzwanzig Uhr eins)

24:00 [Uhr] (読みは vierundzwanzig Uhr。電車の到着時刻等として使われます。出発時刻としては 0:00 になります。到着が 1 分でも遅くなると 24:01 ではなく 0:01 になります。)

• 12 時間方式と 24 時間方式の特徴と使い分け

24 時間方式を使う時には Uhr という単語を決して省略しません。仮に書かれた文章に省略されても、読み上げる時に省略してはなりません。

12 時間方式では 0 Uhr という表現を使わず必ず 12 Uhr と言います。従ってお昼の 12 時をドイツ語ではいずれの方式でも 0 Uhr と言えないし、そのように書かれることもあります。

vor, nach, Viertel, viertel, halb, dreiviertel を含む表現は決して 24 時間方式を使いません。12 時間方式に限って使われる表現です。

それ以外の場合は日常生活でも 24 時間方式がかなり普及しています。„Wir treffen uns um 16 Uhr.“ (午後四時に約束している) という表現も、また „Das Konzert beginnt abends um zwanzig Uhr.“ (演奏会は夜の 20 時に始まる) という余剰的な表現もよく聞かれます。

スーパーの閉店時刻として、日本では「25:00」のような、24:00 を超えた表現も見られますが、ドイツでは決して使われません。24:15 という書き方も誤りで、0:15 が正しい表記です。

• 上記の複数の表現を混ぜた表現

viertel, halb, dreiviertel を使った表現には fünf vor, fünf nach などを重ねる場合があります。特に halb を使う表現ではそれが非常に一般的に使われますが、viertel や dreiviertel とともに使う人もいます。

nachmittags um fünf [Minuten] vor halb vier: 15 時 25 分に

morgens um fünf nach dreiviertel sieben: 午前 6 時 50 分に

ちなみに Viertel vor と Viertel nach を含む表現にさらに fünf vor, fünf nach を重ねると紛らわしいので、一般的ではありません。

Wann? (いつ?) に答える表現

① 副詞で答える：

- ① a) vorgestern, gestern, heute, morgen, übermorgen
- ② b) morgens, freitags, werktags

注 ②は「毎日朝」、「毎週金曜日」などという意味で使われる場合が多い。

② 名詞または名詞句で答える（名詞が変化しない場合もあるが、対格（4格）を使う）

2025	2025 年に	nächste Woche	来週
vorletztes Jahr	一昨年に	die nächsten Tage	来る数日の間に
letzten Montag	去る月曜日に	diesen März	今年の三月に
Donnerstag	木曜日に	kommenden April	次の四月に

ここでも示されたように、無冠詞の場合は多いが、定冠詞が付く場合がある。

③ **an** + 与格（3格）を使って

an は**日に関わる表現**に限って使う。単数形では必ず冠詞（大体定冠詞）が付いて、男性単数または中性単数の名詞がつく場合には **an dem** の代わりに省略形 **am** を使う。

am Montag, am Sonntag, am 8. (achten) Mai 2025, am 25. 5. (fünfundzwanzigsten Fünften), am **Wochenende**, **an** drei Tagen in der Woche, am nächsten Tag³, am Tag (日中), am Morgen, am Vormittag, am Mittag, am Nachmittag, am Abend

例外 **Nacht** の場合は **an** ではなく **in** を使う（**in der Nacht**）。また、**Anfang** と **Ende** を使う表現では日に関わらない表現でも **an** を使い、それに対して **Mitte** を使う場合は **in** を使う。

am Anfang des nächsten Jahres (来年が始まる頃), **am Ende** des letzten Monats (先月末に), **in der Mitte** des 20. Jahrhunderts (20世紀中頃)

④ **in** + 与格（3格）を使って

in は**時点を指す場合は日より長い時間単位**とともに使われる。**特定の期間・時差・持続時間**などを指す場合はすべての時間単位とともに使われる。単数形では必ず冠詞（大体定冠詞）が付いて、男性単数または中性単数の名詞がつく場合には **in dem** の代わりに省略形 **im** を使う。

① 時点を指す場合

im 19. (neunzehnten) Jahrhundert	十九世紀に	im Jahr(e) 2000 ⁴	2000 年に
im Frühling	春に	im Januar	1 月に
in der nächsten Woche	来週	im vorigen Jahr	去年
in der kommenden Nacht	今日の夜中 → (例外、上の an の説明を参照)		

② 特定の期間を指す場合（ただし単数の日について使わない表現である）

In der letzten Stunde vor Ladenschluss kommen viele Kunden.

閉店前の最後の一時間には多くの顧客が入る。

In den nächsten drei Tagen kommt niemand. これから三日の間はだれも来ない。

³ 話題になった特定の日に対して「次の日に」という意味。今日に対しての「明日」は副詞 **morgen** を使う。

⁴ 英語の **in 1993** のように直接年の数に付けない。つまり **in** を年に付ける場合は必ず **Jahr** という単語も使う。またその場合には習慣的にドイツ語の旧式の与格（3格）**Jahre**（語尾 **-e**）を使うことが多い。

⑤ 時差を指す場合

- In zehn Sekunden schlägt die Uhr. 後 10 秒で (教会等の時計の) 鐘がなる。
 Sie kommt **in** drei Tagen. 彼女は三日後に到着する。
 In **einem** Jahr werde ich 20. 私は一年後 20 歳になる。 (**einem** は数詞)

⑥ 持続時間に関する表現 (wann? に対しての答えにはならないが)

- Er läuft hundert Meter **in** elf Sekunden 彼は 11 秒で 100 m を走る。
 Ich schaffe das **in** drei Tagen. 三日間あれば私はそれを完成できる。

⑤ **um** を使って (時刻のみ)

3 ~ 4 頁を参照。

in / im, an / am, um を正しく使い分ける

上記のルールに従って複合された時間表現を正しく組み合わせよう。たとえば

五月の四週目の水曜日 13 時に → **in** der vierten Woche **im** Mai **am** Mittwoch mittags **um** eins
 来週木曜日午後 5 時 15 分に → **nächste** Woche Donnerstag nachmittags um Viertel nach fünf
in der **nächsten** Woche **am** Donnerstag **am** Nachmittag **um** Viertel nach fünf
 5 月の (全ての) 週末に → **an** den Wochenenden im Mai

Wie lang(e)? (期間または時間の長さを問う表現) に答える表現

① 開始時間と終了時間を明示して答える :

Wie lang(e) bist du in der Uni? **Von** halb neun **bis** halb sieben. (**Von** morgens **bis** abends.)

Wie lang(e) dauert das Semester? **Vom** 7. (sieb[en]ten) April **bis zum** 15. (fünfzehnten) Juli.

von ... bis の使い方について。von はすべての時間表現を受けることができるが、bis は定冠詞または不定冠詞を含む表現を受けることができない。定冠詞や不定冠詞を含む表現には bis zu を使う。von と zu はそれぞれ 3 格を受け、**von dem / zu dem** の代わりに省略形 vom / zum を使う。

② 繙続時間で答える (対格 (4 格) を使う、最後に lang を付ける、ただし lang は省略可) :

Wie lang(e) bist du in der Uni? Zehn Stunden (lang).

Wie lang(e) dauert das Semester? Drei Monate und zehn Tage (lang).

Wie lang(e) gilt (→gelten) die Fahrkarte? Ein**en** Tag (lang).

③ 現在に至る期間で答える (seit + 与格 (3 格) 、開始時間または持続時間を伴って) :

Wie lang(e) studierst du schon? Seit April 2025. Seit **dem** 1. (ersten) April. Seit anderthalb Monaten.

Wie lang(e) warten Sie schon? Seit letzter Woche. Seit **der** letzten Woche. Seit zehn Tagen.

Wie alt? (年齢を問う表現) に答える表現

対格 (4 格) + alt で答える。または alt を省略することも多い。alt を省略する場合は Jahre も省略できる。

Mein Großvater (祖父) ist 72 (Jahre (alt)). Wie alt bist du? Ich bin 18 (Jahre (alt)). Wie alt ist das Baby? Das Baby ist **einen** Monat und zehn Tage alt.